



やるきほんききさき 木佐木

神奈川県議員

日本共産党

2023.11.8

木佐木たまさ news

発行：党横浜北東地区委員会

横浜市鶴見区潮田 3-147-6

TEL：045-511-1021

Profile

- ▶1984年 山梨県出身
- ▶鶴見区馬場在住
- ▶神奈川大学法学部卒
- ▶よこはま健康友の会会長
- ▶横浜東民商顧問

届け県民の願い！知事に予算要望書を渡しました



30超の団体と懇談し

約750項目の要望書が完成

11月1日、知事と面談し750項目に及ぶ来年度予算への要望書を知事に手渡しました。この予算要望書を作るにあたっては、7月から様々な団体の方と懇談を重ね、県内市町村議員団からも要望を出してもらい盛り込んできました。昨年のお返答を受けてどのような求め方にしていくのかなど、元県議にも力を借りて議論し完成したものです。

共産党の要望ではなく、県民から預かった声だとしてしっかり受け止めてもらいたいと思います。

不妊治療や補助犬への

財政的支援を求める

知事と予算要望書を手渡す際に、知事と懇談を行うのが慣例となっていますが、その時間も議席数に大きく影響を受けます。8年前に6人の県議団となった際には、約20分の懇談時間だったのが、3人となった今回は半分の10分。あれもこれ

知事と懇談する 神奈川県議団



も知事に直接訴えたい要望ですが、ごく限られたものしか語れないことは非常に悔しいものでした。

その中で、取り上げたのは当事者として感じている他県に比べて貧弱な不妊治療への財政的支援とごくわずかな予算で実施できるにも関わらず、関心を示そうとしない盲導犬をはじめとした補助犬の医療費への支援を当事者の声を紹介しながら改めて求めました。

言行一致が知事の責任

知事からは、ジェンダー、当事者目線、ともいき（共生）の3つの主流化はすべての施策に反映されるべき視点だと話がありました。そうであれば、当事者からの切実な声には真摯に向き合い課題解決に取り組む姿勢が示されなければならないはずです。

県の仕事ではないとか、ほかの団体が支援しているから県が支援しなくてもいいとか責任をほかにか押し付けることのないように、言行一致を求めていきたいと思っています。

